



カラスの勝手でしょ

今回は、最近読んだおもしろい本の話をおもしろいと言っても小説などの読み物ではなく、そこはこのコラムなのでそっち方面ですが。タイトルはズバリ「カラスの教科書」。そうです、あの嫌われ者のカラスの話です。著者は松原始さんと言って、もっぱらカラスの研究に余念がない先生の話です（現在の仕事は、博物館勤務だそうです）。普通の動物解説書とは違って、自ら「カラス馬鹿一代」と名乗り、好きで取り組んだ長年にわたるカラスの観察から得た知見の数々。何よりもカラスへの愛情がたっぷり詰まっています。

動物園でもカラスは嫌われ者の部類に入るでしょう。高い木の上から放飼場にある動物の餌に狙いを定め、飼育員などがいなくなるとサッと舞い降りてエサを奪って飛んでいきます。カラスは何でも食べますが、特に果物やパン、サツマなど甘いものには目がないようです。動物園でも以前は色々撃退法を試したようですが長続きはせず、効果的に追い払う方法はないようです。



エサはないかな

松原さんによると、カラスは元々野山に棲息する鳥で動物の死肉などを漁ることから森の掃除屋さん、いわゆるスカベンジャーとしての役割を自然界では担っていた、と言います。都会でもカラスが増え問題となっていますが、人間社会で出るゴミは当然のごとく彼らからすれば貴重な食糧であり、それ以上でも以下でもない、という訳です。ゴミ袋を引きちぎって中身を引き出す行為も、死んだ動物の体を引き裂き内臓をえぐりだす行為の延長な訳です。なるほど、妙に納得してしまいました。考えてみれば、町の中にゴミを集めて出すという行為は、社会の成熟に伴って編み出された人間の知恵なのでしょうが、そのことが掃除屋さんの余勢を駆ってしまった、ということなのでしょう。

また、カラスが人間を襲うという行為も、あくまで子育て中の親が雛を守る時だけの行動であり、積極的にカラスから仕掛けることは無いそうです。たまたま、こっちは見てるつも

りはなくても視線の先に巣があると、巣の中の雛を見られてると勘違いした親ガラスが「お前アッチ行け」と威嚇をするだけで、不幸にしてそこを通りかかった人が恐怖を覚える、という構図が出来上がります。私も以前、園内で後ろから頭ギリギリで飛んでこられたことがあり、時期的にも5月頃だったので近くに巣があったのでしょう。



結構かわいい…かな？

本を読んでから私も動物園のカラスを興味深く見てみるようになりました。この辺ではハシブトガラスとハシボソガラスが共存していますが、よほど近づかないとその区別は難しいです。基本的にくちばしの太さで判別するのですが、近づくとその気配ですぐに飛んで行ってしまいます。望遠を使ってカメラに収めると、たぶん、ハシボソ君が多そうです。また、鳴き方もハシブト君のいかにもな「カアー、カアー」に対し、ハシボソ君は「グアー」とか「ア”ー」とか濁った鳴き方でこれは私も聞き分けられました。



ハシボソ君…多分

動物園にはバリケンというカモの仲間がいます。朝、彼らに餌を出すと、トウモロコシや屑

パンなどカラスにとっても贅沢な朝食が並ぶというわけで、どちらに餌を与えているのか分からなくなります。そこでバリケンたちの食事が終わるまで、飼育員はカラスが来ないように見張っていることとなります。人間がいれば余程切羽詰まってない限りやってくることはありません。このようにカラスたちは基本的に人間とは関わりたくない、と思っている動物です。また、チンパンジーのランドでも、朝、あっちこっちに餌を仕込んでおくのですが、あまりカラスは近づかないようです。カラスから見たら人もチンパンジーも一緒だったりして。



カモの仲間・バリケンのエサ



食べ終わるまで…

そういえば、小さい頃母親の実家（のどかな田舎）に遊びに行くと動物好きの伯母さんがいて、イヌやネコ、ニワトリのほかにカラスを飼っていました。家に迷い込んだカラスに餌付けをしているうちになついてしまったそうです。名前を付けてかわいがっていると、そのうちちょっとした人間の言葉も話すようになりました。私たちは九官鳥ガラスといって肩にのせたりしてよく遊んでいました。そのうちにどこかへ行ってしまったようですが。ちなみに

今は野生といえども捕獲して飼うことはできませんので念のため（昔もか？）。

そんな結構愛くるしいカラスたち。ただ、エサの横取りはまだしも、動物の体をつつくことがあるのが困りものです。あ、カラスが言ってます。「カラスの勝手でしょ」



つつかれたあと

「どうぶつのくに」連載中の「あっかみね動物園だ！」VOL. 5
よかったらこちらからどうぞ [「どうぶつのくに」](#)（新しいウインドウが開きます）

2013年9月14日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)